

令和元年度 函館伝統的建築技術研修会 アンケート集計結果

研修会参加者：全49名（技術者：29名，特別聴講者：20名）

アンケート回収枚数：44枚（回収率89.8%）

各日程参加者数

日程	科目	内容	参加者数 [名]		
			技術者	特別聴講者	全体
2月4日	保全技術	歴史的建造物の保全技術について	25	18	43
	函館の景観行政	景観行政の取り組みと補助制度について	25	18	43
	函館の建築と技術	函館の建築史と独自の建築技術について	25	18	43
	改修事例	歴史的建造物の改修事例について	25	18	43
2月5日	函館の文化財	指定文化財・登録文化財について	26	16	42
	伝統的建築技術	木を生かす千年の知恵と技術を未来に伝え残したい	26	16	42
	見学研修1	改修現場見学【旧函館区公会堂】	26	16	42
2月6日	見学研修2	改修現場見学【遺愛学院 本館】	26	16	42
	演習（現場）	現地研修【旧ロシア領事館】	27	16	43
2月7日	演習	旧ロシア領事館を題材に創建時の材料の劣化状況から修理方法を検討	23	12	35
	演習	発表・総評	23	10	33

■ アンケート用紙（表）

函館市委託事業「伝統的技術者継承人材育成事業」

函館伝統的建築技術研修会 アンケート

この度は本研修会にご参加いただき、ありがとうございました。
このアンケートは、本研修会の効果と、これからの伝統的技術者継承人材育成の取り組みの参考とするために行うものです。
とりまとめに際しては、個人情報等に配慮すると共に、上記の目的以外には使用いたしません。是非ご協力をお願いいたします。

【問1】「函館伝統的建築技術研修会」を、どのようにお知りになりましたか。該当する番号に○を付けて下さい。
(回答はいくつでも可)

① 会社から	② 組合から	③ ポスター	④ チラシ	⑤ 函館市ホームページ	⑥ Facebook
⑦ はこだて街なかプロジェクトホームページ	⑧ 知人・友人	⑨ 新聞記事	⑩ その他()		

【問2】「函館伝統的建築技術研修会」に、参加しようと思った理由は何ですか。該当する番号に○を付けて下さい。 (回答はいくつでも可)

① 伝統的建築技術を習得したい	② 伝統的建築技術に関する知識に興味がある	③ 仕事に活かしたい
④ 伝統的建築技術者を育成したい	⑤ 函館の歴史的建造物の未来を憂いて	⑥ 人に勧められて
⑦ その他(自由回答):	[]	

【問3】今回の研修について、どのように感じましたか。一番近いと思う番号に○を付けて下さい。

	そう思う	普通	そう思わない
・内容は期待していたものだった。	5 . . . 4 . . . 3 . . . 2 . . . 1		
・講義は理解できる内容だった。	5 . . . 4 . . . 3 . . . 2 . . . 1		
・研修資料は分かりやすかった。	5 . . . 4 . . . 3 . . . 2 . . . 1		
・今後の仕事に活用できる内容だった。	5 . . . 4 . . . 3 . . . 2 . . . 1		
・この研修は他の人に勧められる内容だった。	5 . . . 4 . . . 3 . . . 2 . . . 1		

【問4】「函館伝統的建築技術研修会」で、興味を持った科目は何ですか。該当する番号に○を付けて下さい。 (回答はいくつでも可)

1 目 目	① 歴史的建造物の保全技術について(講師/長岡造形大学名誉教授 木村 勉 氏) ② 景観行政の取組と補助制度について(講師/函館市都市建設部まちづくり景観課 山口 敬介) ③ 函館の建築史と独自の建築技術について(講師/はこだて街なかプロジェクト 山内 一男) ④ 歴史的建造物の改修事例について(講師/はこだて街なかプロジェクト 富樫 雅行)
2 目 目	⑤ 指定文化財・登録文化財について(講師/函館市教育委員会生涯学習部文化財課 野村 祐一) ⑥ 木を生かす千年の知恵と技術を未来へ伝え残したい(講師/社寺工舎代表 菊池 恭二 氏) ⑦ 見学研修【旧函館区公会堂】(講師/文化財建造物保存技術協会 富沢 晃 氏)
3 目 目	⑧ 見学研修【遺愛学院】(講師/文化財建造物保存技術協会 内海 勝博 氏) ⑨ 実習現地見学【旧ロシア領事館】(講師/文化財建造物保存技術協会 中内 康雄 氏)
4 目 目	⑩ 実習【旧ロシア領事館】(講師/文化財建造物保存技術協会 中内 康雄 氏) ⑪ 発表【旧ロシア領事館】(講師/文化財建造物保存技術協会 中内 康雄 氏)

【裏面にも設問があります。ご協力をお願いいたします。】

■ アンケート用紙（裏）

函館市委託事業「伝統的技術者継承人材育成事業」

【問 5】 来年度、職種ごとの専門的な研修会を予定していますが、その場合は受講したいと思いますか。該当する番号に○を付けて下さい。

① 受講したい	② 研修期間によっては受講したい	③ 研修内容によっては受講したい
④ 受講しない	⑤ 分からない	
※③と回答した方は、どのような研修内容なら受講しますか。〔 ↓ 〕		

【問 6】 これからの研修会開催のためにお聞きます。該当する番号に○を付けて下さい。また、よろしければその理由等をご記入下さい。

・ 伝統的技術の人材育成（継承）は重要だと思いますか。 ①とても重要 ②重要 ③どちらとも言えない ④重要ではない ⑤全く重要ではない 理由等〔 〕
・ 4日間の研修 <u>期間</u> はどうでしたか。 ①適切だった ②長すぎる ③短すぎる 理由等〔 〕
・ 2月の研修 <u>時期</u> はどうでしたか。 ①適切だった ②春が良い ③夏が良い ④秋が良い 理由等〔 〕
・ 1日の研修 <u>時間</u> はどうでしたか。 ①適切だった ②長すぎる ③短すぎる 理由等〔 〕

【問 7】 「函館伝統的建築技術研修会」や「伝統的技術者継承人材育成事業」へのご意見・ご感想をお聞かせください。

(自由回答) :

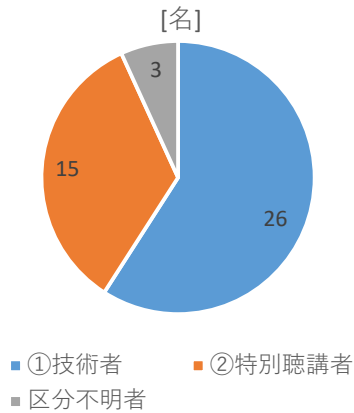
最後に、あなたの年齢・ご職業などについて教えてください（それぞれの項目について、該当する番号に○を付けて下さい）。

申込み区分	①技術者 ②特別聴講者
年 齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
ご職業	①大工 ②建具 ③左官 ④塗装 ⑤表具 ⑥造園 ⑦畳 ⑧瓦 ⑨石工 ⑩板金 ⑪設計・施工 ⑫建築士 ⑬設計士 ⑭無職（ 以前のご職業： ）
お住まいの地域	①函館市内 ②その他市町村（市町村： ）
お勤め先の地域	①函館市内 ②その他市町村（市町村： ）

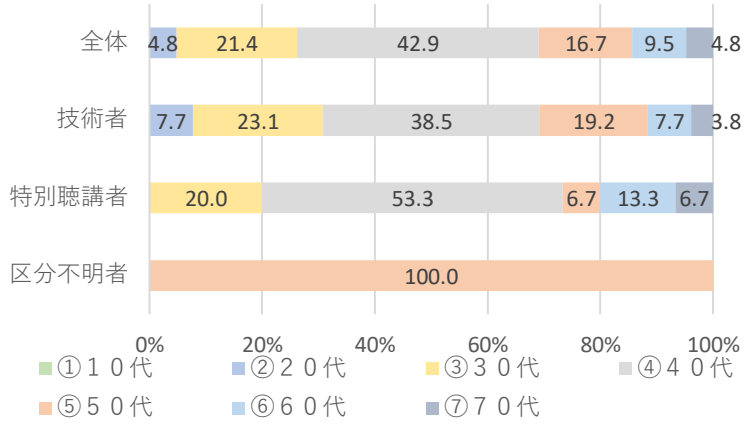
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

■ 回答者について

【1】 申込み区分 全体:44名

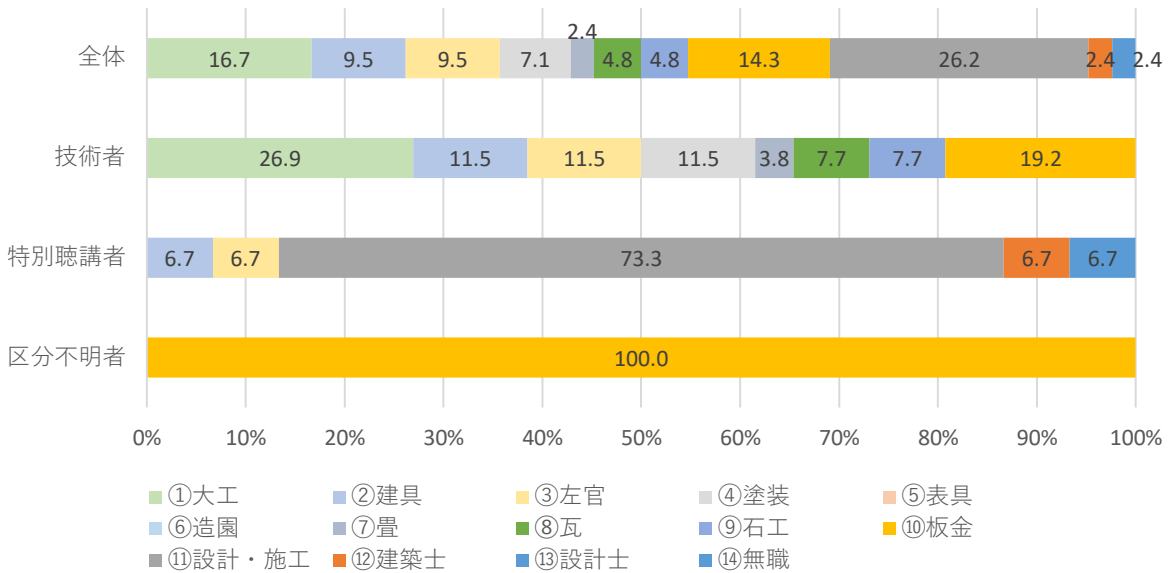


【2】 年齢 全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



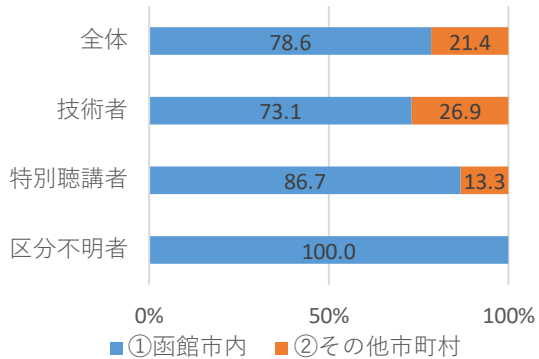
※ 区分不明者の内、2名はアンケート裏面(問5~回答者について) 全て無回答、1名は申込み区分のみ無回答

【3】 職業 全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



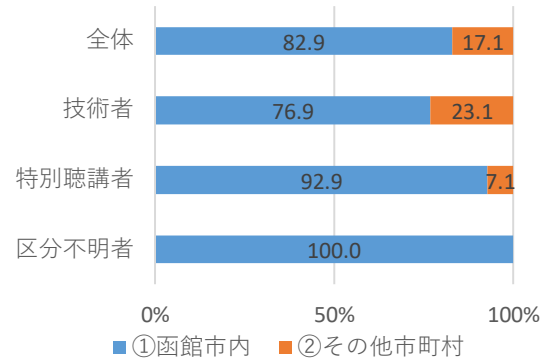
【4】 お住まいの地域

全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



【5】 お勤め先の地域

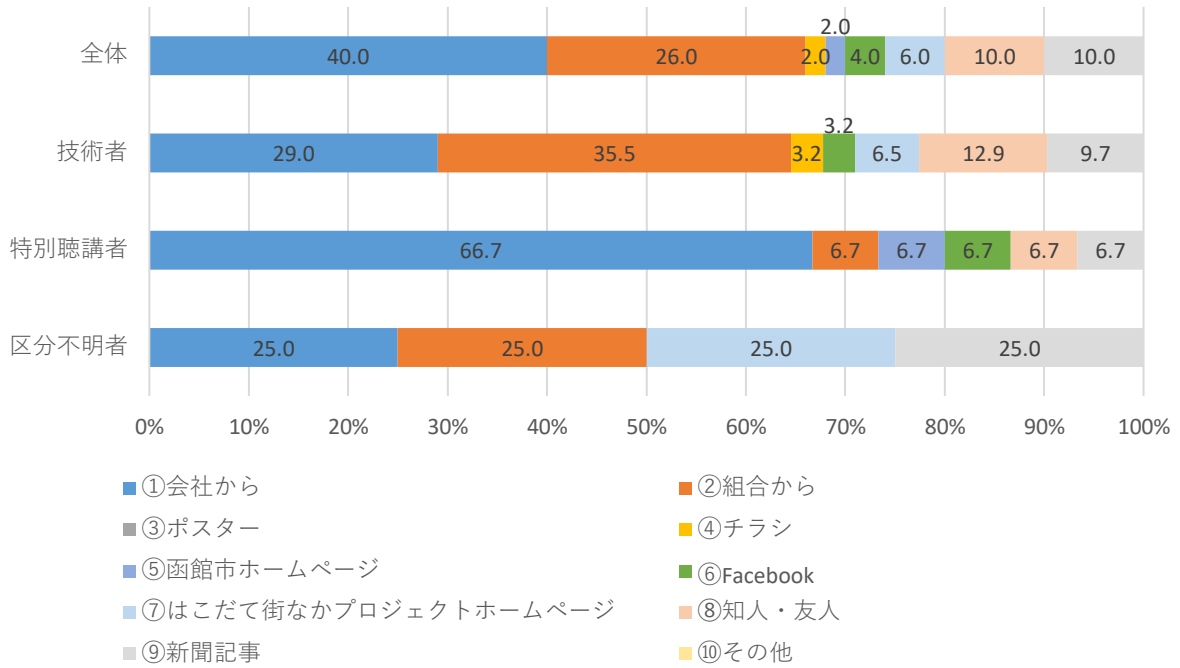
全体:41名(技術者:26名,特別聴講者:14名,区分不明者:1名)



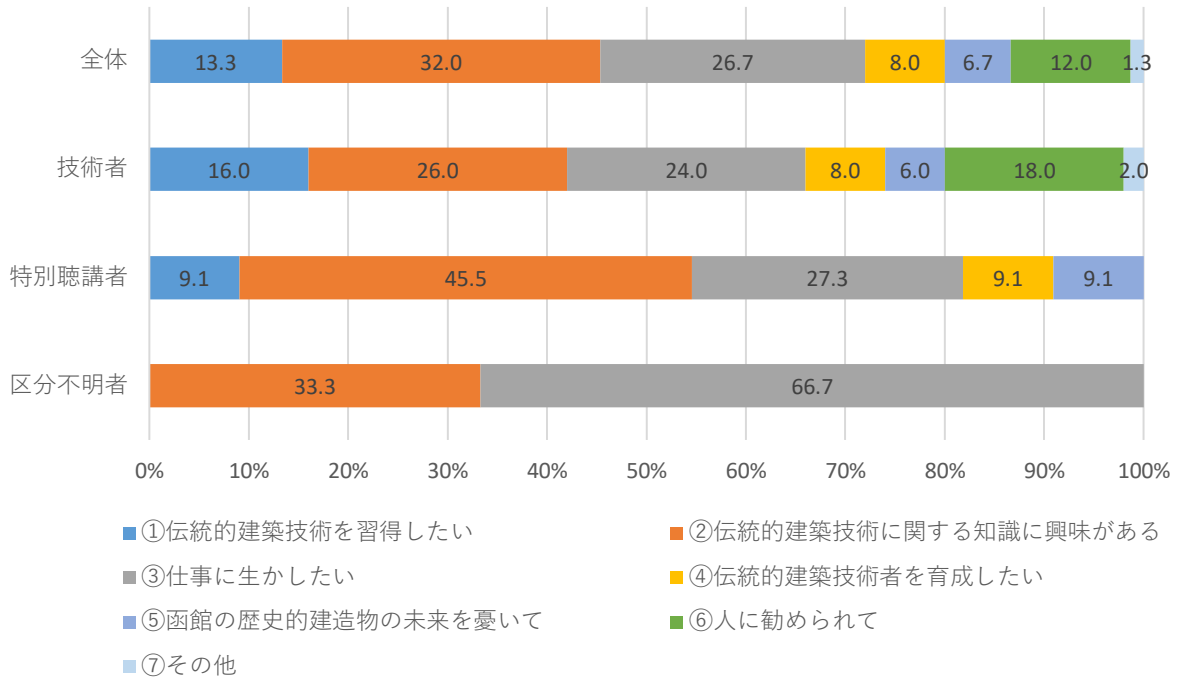
※ 無回答3名の内、1名は無職

■ 研修について

【問1】 「函館伝統的建築技術研修会」を、どのようにお知りになりましたか。該当する番号に○を付けて下さい。（回答はいくつでも可）



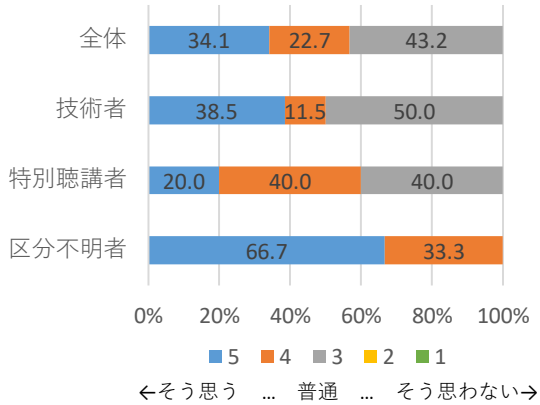
【問2】 「函館伝統的建築技術研修会」に、参加しようと思った理由は何ですか。該当する番号に○を付けて下さい。（回答はいくつでも可）



【問3】 今回の研修について、どのように感じましたか。一番近いと思う番号に○を付けて下さい。

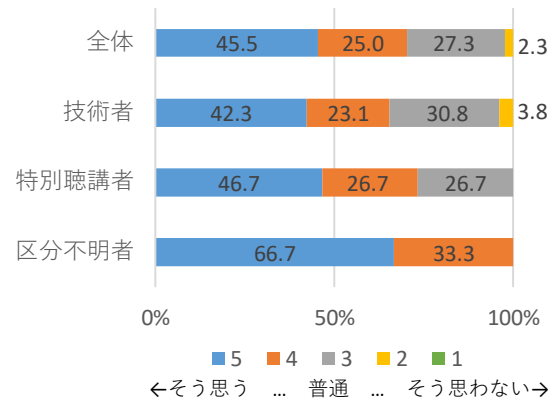
・ 内容は期待していたものだった。

全体:44名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:3名)



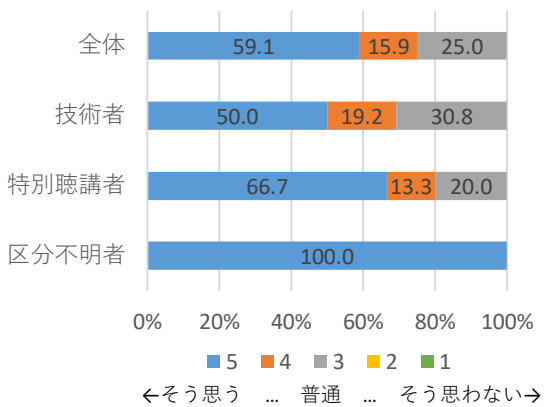
・ 講義は理解できる内容だった。

全体:44名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:3名)



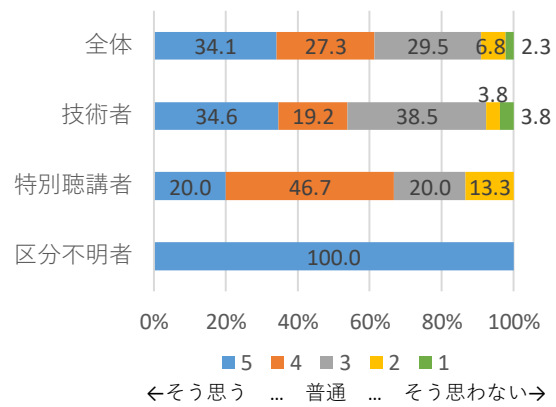
・ 研修資料は分かりやすかった。

全体:44名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:3名)



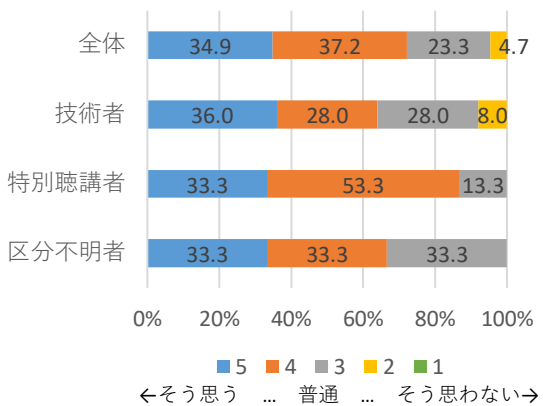
・ 今後の仕事に活用できる内容だった。

全体:44名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:3名)



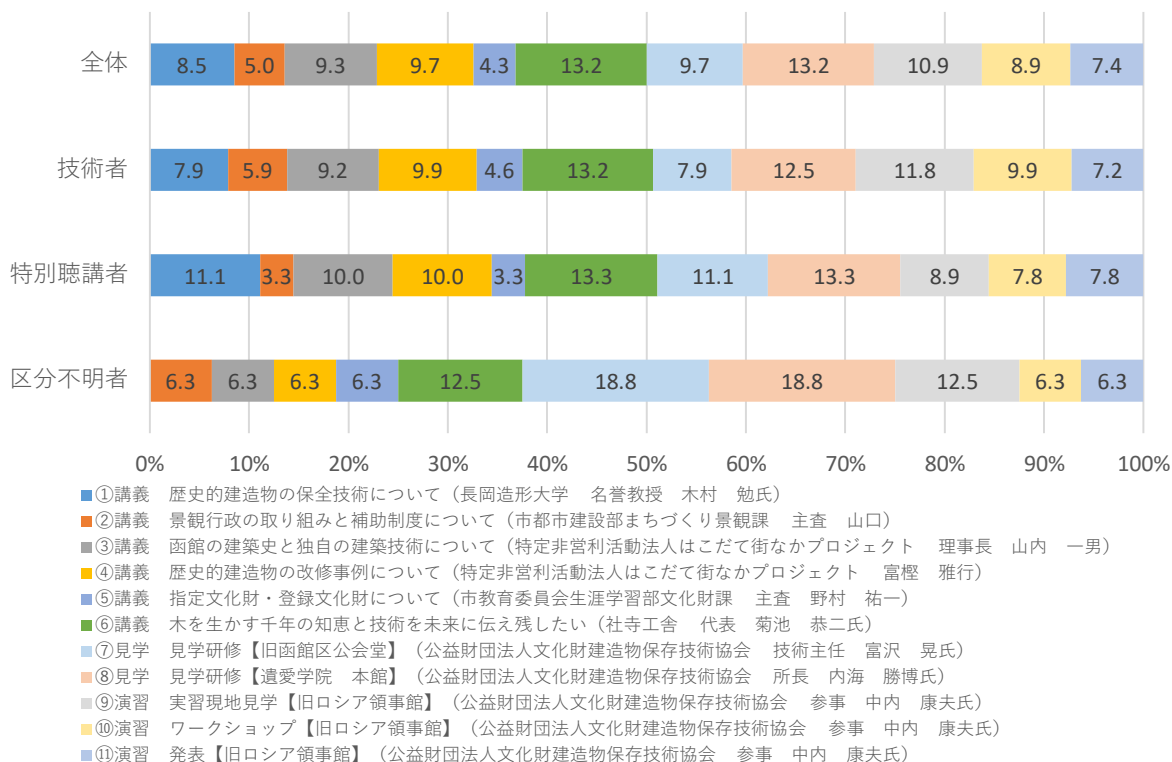
・ この研修は他の人に勧められる内容だった。

全体:43名(技術者:25名,特別聴講者:15名,区分不明者:3名)



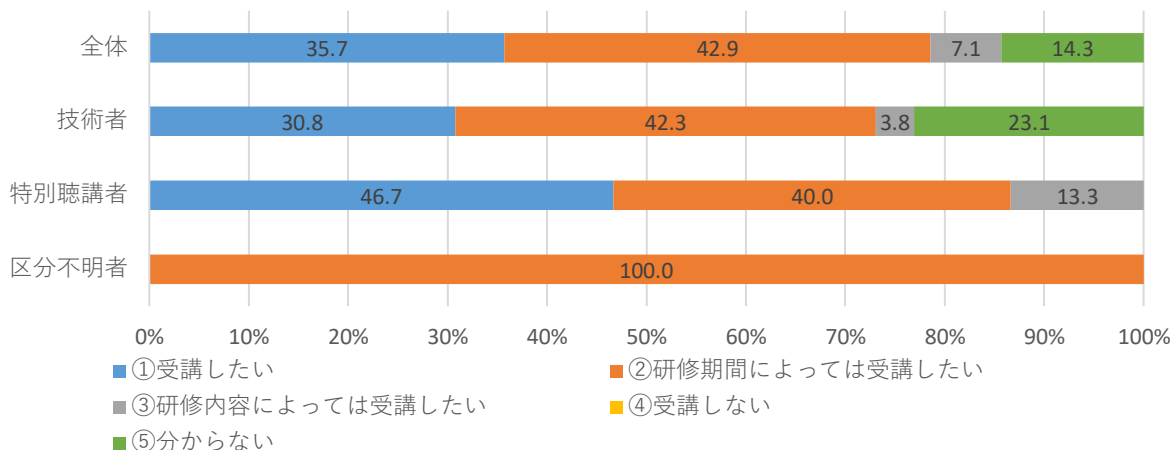
※ 無回答1名 「人による」とのコメントあり

【問4】 「函館伝統的建築技術研修会」で、興味を持った科目は何ですか。該当する番号に○を付けて下さい。（回答はいくつでも可）



【問5】 来年度、職種ごとの専門的な研修会を予定していますが、その場合は受講したいと思いますか。該当する番号に○を付けて下さい。（回答はいくつでも可）

全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



※ 「③研修内容によっては受講したい」と回答した回答者に向けた設問

どのような研修内容なら受講しますか。

○技術者(1名)

実技(各専門職)

○特別聴講者(2名)

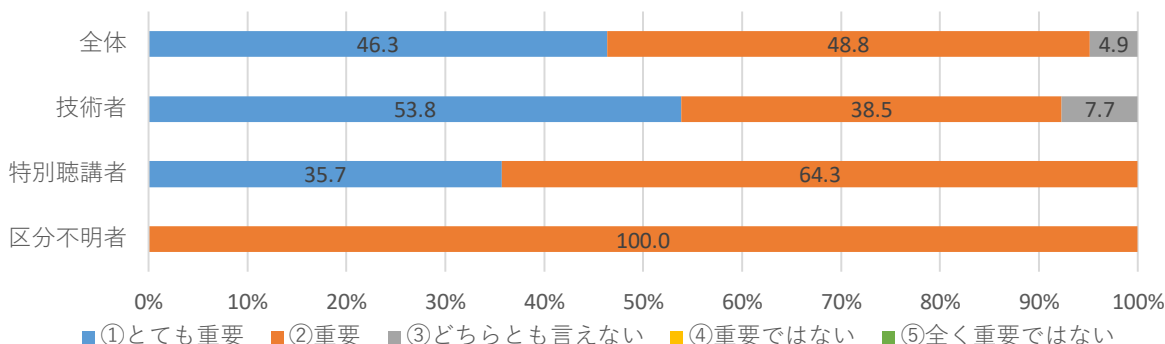
実例

伝統的な施工方法等の説明

【問6】 これからの研修会開催のためにお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。また、よろしければその理由等をご記入下さい。

・ 伝統的技術の人材育成（継承）は重要だと思いますか。

全体:41名(技術者:26名,特別聴講者:14名,区分不明者:1名)



○技術者(15名)

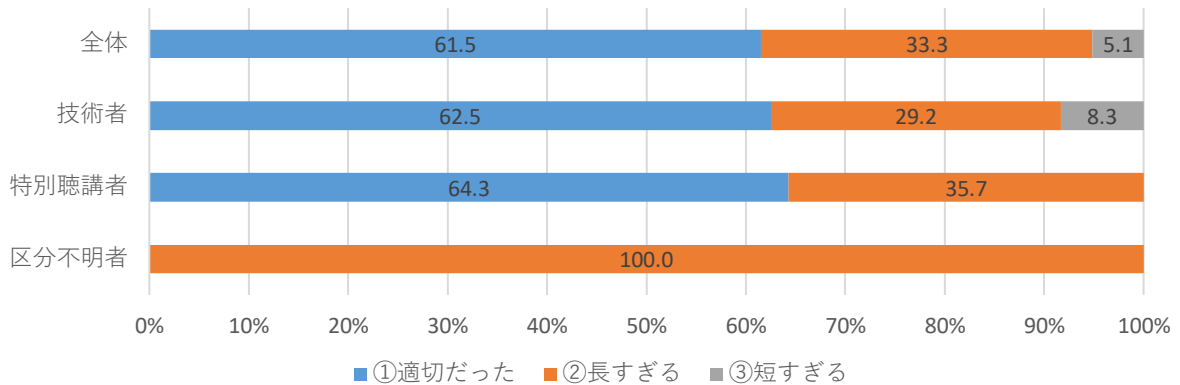
とても重要
周りを見ると高齢者が多く、人手不足、人材確保の大切さを実感している
旧ロシア領事館小屋裏の小屋組見学時間がもう少しあればよかった
若い職人の確保に苦労している
わからないままでは良くないと思う
昔があるから今があるため、知ることがとても大切
未来のため
若年の技術者が少ないため
今は材料も工法もいろいろあるが、やはり昔の技術はすごいと思う
その技術は絶やしてはいけないと思う
重要
人不足のため
伝統的技術を残すため ※ 同意見 他1名
高齢者が多いため
歴史的な建造物を復元できる技術者は必要だと思う
なぜその形が必要なのか等、加工の意味を伝えることが必要であると思う
職人の高齢化や減少が激しくなっているため
どちらとも言えない
正直今は興味がない

○特別聴講者(6名)

とても重要
今後の仕事に生かせる
物の見方が変わって判断力がついた
次の世代に伝えていくために続けていく必要がある
重要
日本の文化が継承されたら良いと思う
函館市の歴史的な建物を残していくためには必要だと思う
地元の間人が、伝統的建築により関わることで函館市の文化を継承していくことになると思うから
人材育成は伝統的技術に限らず重要だと思う

- 4日間の研修期間はどうか。

全体:39名(技術者:24名,特別聴講者:14名,区分不明者:1名)



○技術者(10名)

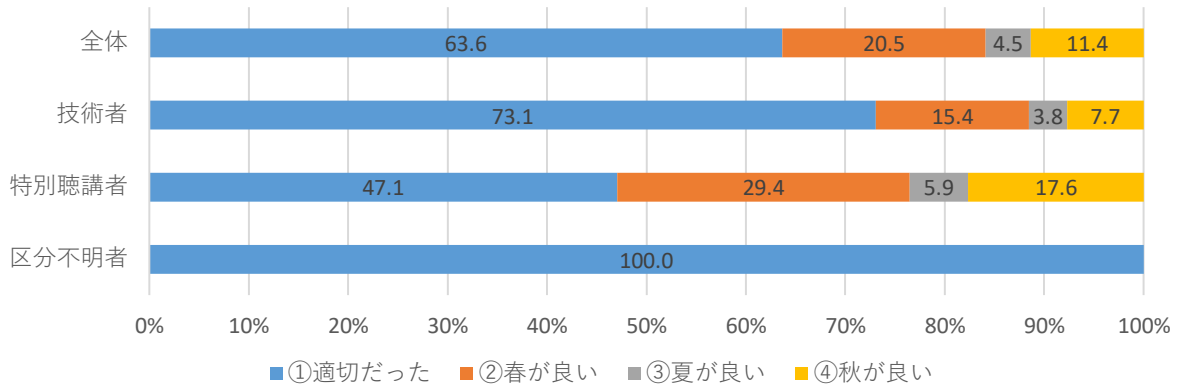
適切だった
知識を得て、実際の現場を見て学ぶとなれば必要な日数だと思う
この研修内容をこなすには4日必要だったと思うが、3日間だと助かる
内容の量を考えると適切であったと思う
長すぎる
2日程度が望ましいと思う
理想は2日か3日
4日連続は都合が合わないこともあるため
普段は作業員であるため
休みが取りづらいため
短すぎる
様々な職種の人たちが参加しているため仕方ないが、専門(大工)の技術を学びたかった
しかし、様々な話を聞くことができ、貴重な話も聞くことができたため良かった
理由のみ回答
3日程度が良い

○特別聴講者(6名)

適切だった
見学等に行くことができたのが良かったため、長い気もするが必要かと思う
内容から見ると、この程度の時間は必要であると思う
少し長いと思ったが、様々な講義内容で良いと思った
長すぎる
2日程度なら毎年参加したい
専門職種毎の研修とし、短い期間でそれぞれ受講できる内容にすれば4日間ではなくて良いかと思う
内容を考えると適切だと思うが、現在抱えている仕事が止まるのは厳しいため

・ 2月の研修時期はどうでしたか。

全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



※ 複数回答1名(回答「春・夏・秋」全てに加算)

○技術者(12名)

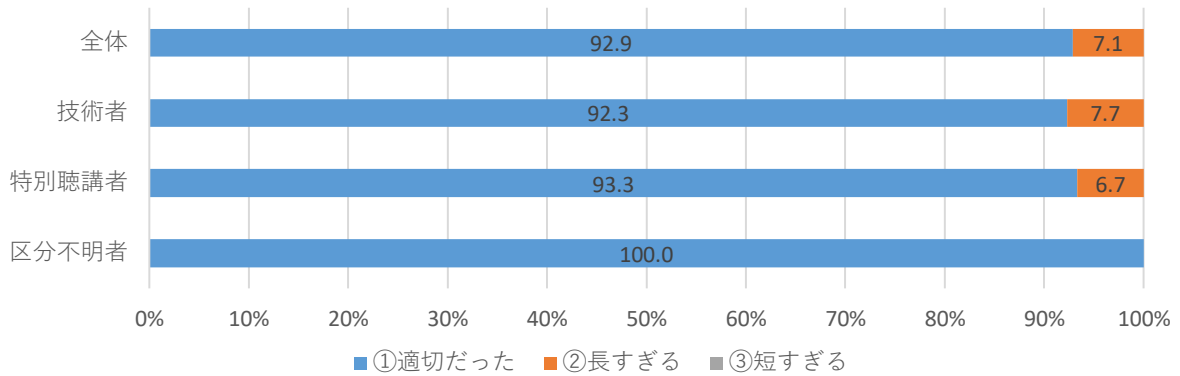
適切だった
職人が参加できるのはこの時期しかないのではないかと思う
一番時間を空けやすい時期であるため
建築業が比較的暇な時期であるため
4月～12月では参加できない可能性があるため
1月2月は仕事が少いため
仕事量が少いため
春が良い
仕事の都合上
少し寒い
寒い
夏が良い
寒い時期よりは、雪などの障害物等のない時期に見たかった
秋が良い
仕事の都合上
寒かったため

○特別聴講者(6名)

適切だった
春からは現場が始まる所が多いと思うため
仕事が少い時期なので良い
積雪のため工事の少ない1～3月が良いと思う
春が良い
毎年度は業務が忙しいため
冬は寒い
秋が良い
寒くない方が良かったため

- 1日の研修時間はどうか。

全体:42名(技術者:26名,特別聴講者:15名,区分不明者:1名)



○技術者(7名)

適切だった
朝現場の準備をし、次の日の段取をすとなれば9~16時で丁度良い
ちょうど良い ※ 同意見 他1名
良かった
軽仕事に影響がないため
現場研修の時間は適切だと思ったが、座学の研修時間は長かった
長すぎる
理想はAM9:30-12:00 PM13:30-16:00

○特別聴講者(3名)

適切だった
遠くから通っても参加できる
この程度の時間はかかると思う
1日の時間としては調度よいと思う

【問7】 「函館伝統的建築技術研修会」や「伝統的技術者継承人材育成事業」へのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

全体:26名(技術者:15名,特別聴講者:11名,区分不明者:0名)

○技術者

<p>予算があれば毎年続けてほしい このような時間は普段はつくりだすことができない 人材育成には大変素晴らしい企画だった ありがとうございました</p>
<p>函館は明治からの建物が多いため蔵や自宅が古い また参加したい</p>
<p>技術的な実技等(自分の専門職種以外も)についても研修したい</p>
<p>正しい知識を学ぶためには必要なことであると感じた 文化財の成り立ちを知り、歴史と背景を知る事がとても大切であると感じた</p>
<p>もっと若い人を入れた方が良いと思う</p>
<p>特になし</p>
<p>人材育成はとても良いことだと感じた</p>
<p>楽しかった 寒かった</p>
<p>函館のような古い町並みが残る地域にはとても重要な事業だと思う</p>
<p>今回のような講習を継続してほしい ※ 同意見 他1名</p>
<p>若年技術者を育てるための講習をもっと多く開くべき</p>
<p>あまり歴史に興味はなかったが、今回様々な話を聞くことができ、勉強になった このような機会を設けて下さりありがとうございました</p>
<p>改めて、技術や古き良き建物について考えることができた</p>
<p>楽しく勉強できた</p>

○特別聴講者

<p>いろいろ勉強になった ありがとうございました</p>
<p>大変貴重な研修会だった ありがとうございました</p>
<p>函館伝統的…講義内容がほぼ函館以外の事項であったため、もっと函館の建物についてやってほしい</p>
<p>もう少し技術者向きな講習でも良かったと思う</p>
<p>見学の際に、普段見ることができない実際に作業している所を見ながら説明を聞くことができたため良かった</p>
<p>文化財指定されていない建築に対する、ほかの地域の取り組みや市の考え方を教えてほしかった</p>
<p>もう少し何年も前から取り組んでほしかった</p>
<p>現場研修の際に見学の列から離れ単独行動したり、カラーコーンのバーを外して立入禁止エリアに入る聴講者(運営)が数名いたので工事現場に入るには安全規則を守る様周知しなければ事故に繋がると思う</p>
<p>伝統的な技術の習得や、その施工管理方法、文化財工事に対する新建築の改修との違いや、扱ひ方の違いなど、まだ知らない人が多いと思う このような腐れ箇所はどのように繕ったかなど、そのような講習があれば良いと思った</p>
<p>普段聞くことができない話を聞けたことは良かった 問5にあるように、職種ごとに分ければ2日程度に期間を短縮でき、参加しやすくなるのではないかと思う しかし、様々な職種の人が話すことで、新しい発見があると思うので今回の研修会に参加してよかった</p>
<p>次回から、分野別・工種別等必要な情報を周知すると良いと思う 古い建築物と接する機会の少ない方の認知度を高めること、継承することが大切と思う</p>